

第24回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

神通寺の納家

所在地：香美市

- 発注者：谷岡仁、谷岡由紀
- 設計者：桑名平建築研究所
- 施工者：渡邊建築



高知県

施設の概要



神通寺の納家は、元々は施主の祖父が実家の隣に1926年に建てた納屋でした。農具や米の収蔵だけでなく、祖父の書斎としても使われており、施主にとっては良き思い出のある建物でした。

施主がご両親と共に生活をすることを考えたとき、主屋での同居ではなく、お互いの暮らしの時間を大事にできる形を希望されたことから、「納屋」を住まう場所である「納家」へと変化させることとなりました。

耐震性、採光、断熱性といった住環境を整えつつも、柱、梁、土佐漆喰塗壁はできるだけ隠さず、そのままの姿を残しながら改修したことで、その来歴が醸し出す建物の空間は訪れる人に感動を与えます。

選 評

- ・元からあるものの自体の価値を見出した施主の想いに、設計士、施工者の知識と技量が三位一体となった古屋再生のモデル的な建物である。
- ・漆喰部分は蓄熱や蓄冷蔵機能があるので非常に合理的であり、長年の時間の経過により周囲への調和もよくできている。

